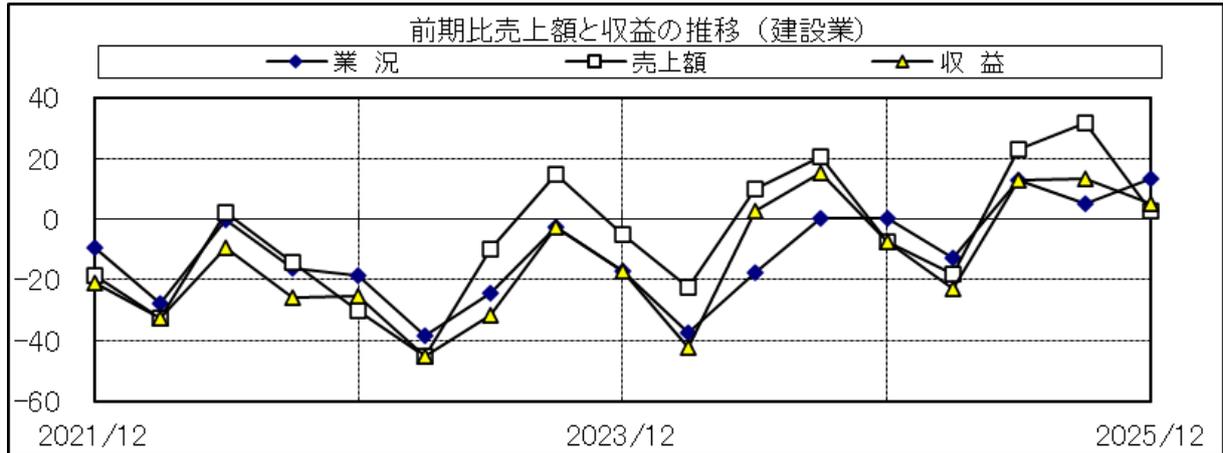


建設業 38 企業 (回答率 100.00%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
業 況	12.8	5.3	13.2	-15.8
売上額	23.1	31.6	2.6	-23.7
収 益	12.8	13.2	5.3	-21.1

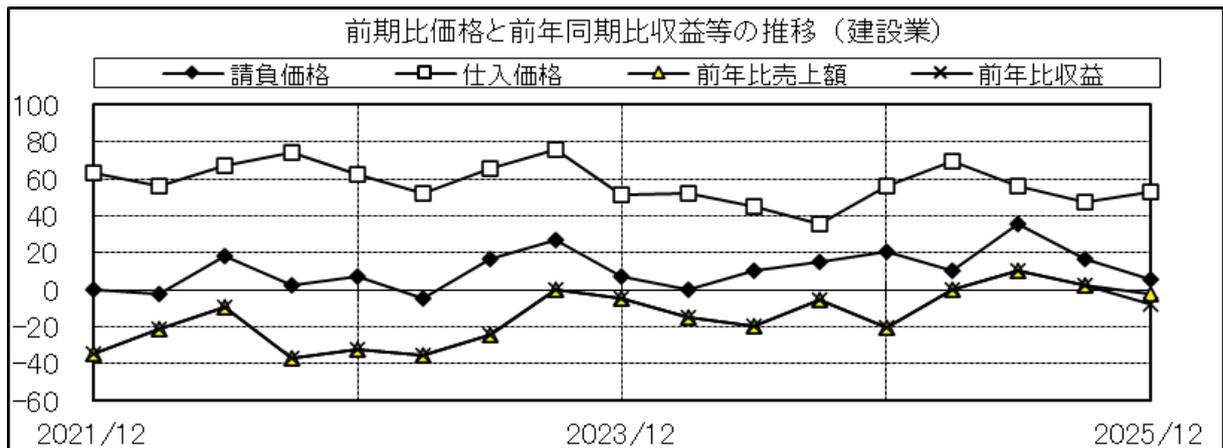
今期の業況判断 D. I. は 13.2 で、前期比 7.9 ポイント上昇、前年(0.0)比で 13.2 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりもが最も高く、次に様似、静内、浦河と続き、三石・広尾が同率で最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、2.6 で、前期比 29.0 ポイント下降。収益判断 D. I. は 5.3 で、前期比 7.9 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
請負価格	35.9	26.3	5.3	-5.3
仕入価格	53.8	47.4	52.6	47.4

請負価格判断 D. I. は 5.3 で、前期比 21.0 ポイント下降、前年(20.5)比で 15.2 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 52.6 で、前期比 5.2 ポイント上昇。前年(56.5)比で 3.9 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
残業時間	-2.6	7.9	-5.3	-10.5
人手状況	-35.9	-55.3	-42.1	-39.5

残業時間判断 D. I. は Δ 5.3 で、前期比 13.2 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は Δ 42.1 で、前期比 13.2 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

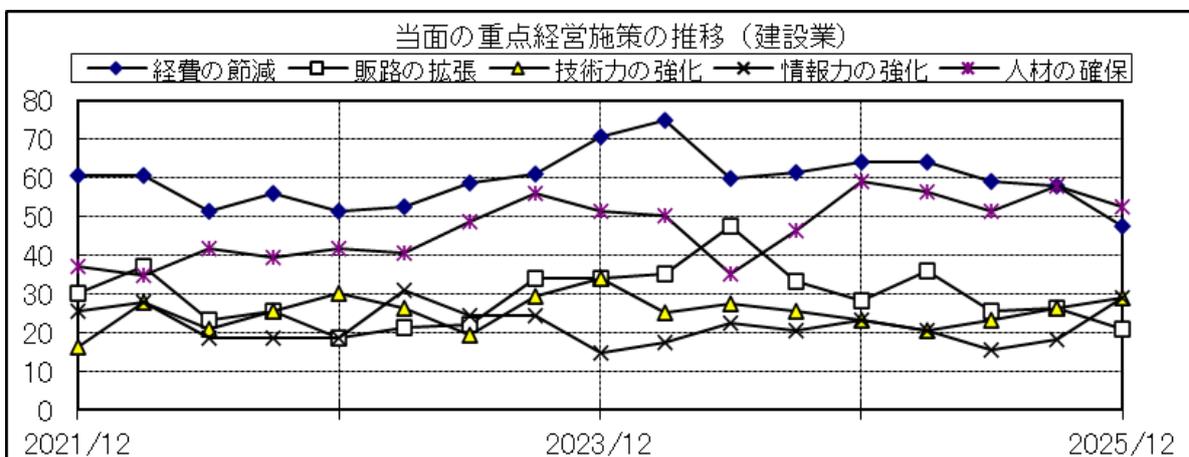
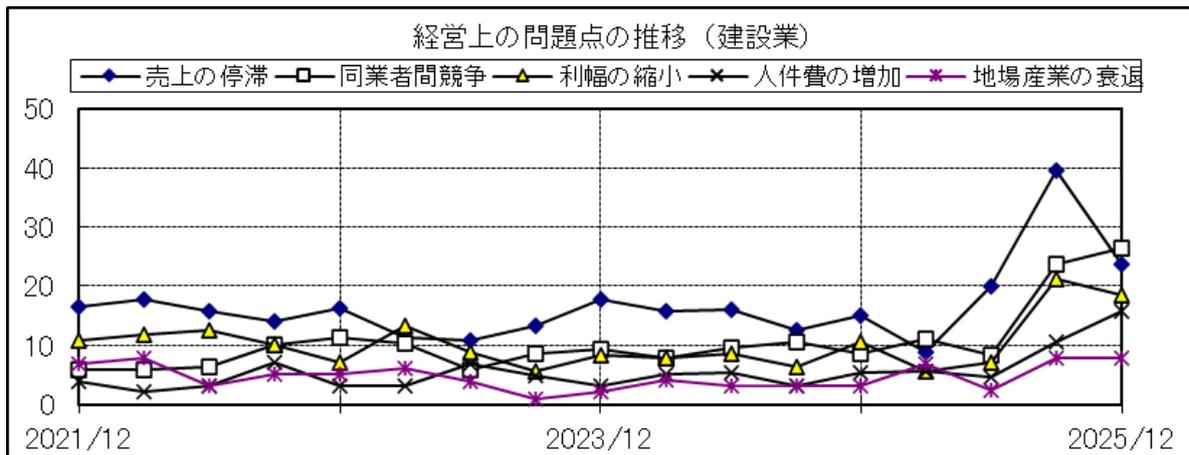
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 10.5$ で、前期($\Delta 5.3$)比5.2ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は23.7で、前期(13.2)比10.5ポイント上昇した。設備投資は、前期5社に対し、9社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が57.9%と最も多く、次に「人手不足」44.7%、「同業者競合」26.3%、「売上停滞減少」23.7%、「利幅縮小」18.4%、「人件費増加」15.8%、「下請確保難」・「天候不順」・「地場産業衰退」が7.9%、「大手企業競合」・「技術力不足」が5.3%、「諸経費増加」2.6%となっている。

重点経営施策では、「人材確保」が52.6%と最も多く、次に「経費節減」が47.4%、「情報力強化」・「技術力強化」が28.9%、「販路拡大」21.1%、「不動産有効活用」5.3%、「新事業開始」・「パート化」・「教育訓練強化」が2.6%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 15.8$ と、今期比29.0ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 23.7$ と、今期比26.3ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 21.1$ と、今期比26.4ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は $\Delta 5.3$ と、今期比10.6ポイントの下降を見通している。

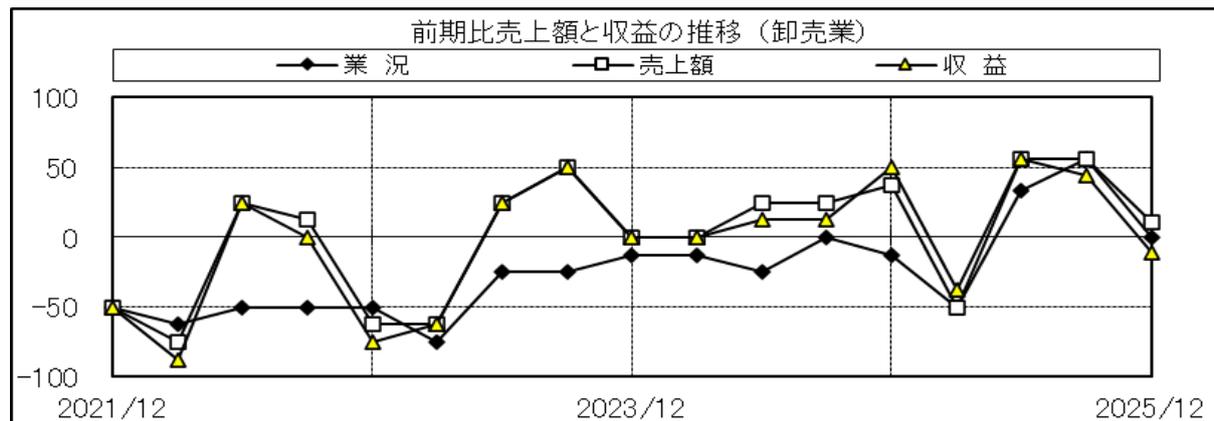
予想仕入価格判断D. I. は47.4と、今期比5.2ポイントの下降を見通している。

卸売業 9 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
業 況	33.3	55.6	0.0	-22.2
売上額	55.6	55.6	11.1	-33.3
収 益	55.6	44.4	-11.1	-33.3

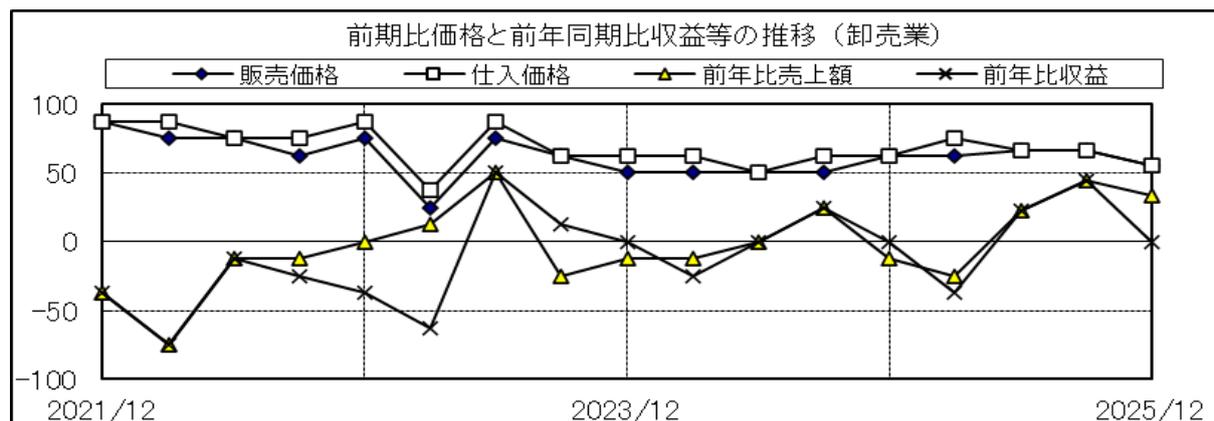
今期の業況判断 D. I. は 0.0 で、前期比 55.6 ポイント下降、前年(△12.5)比で 12.5 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は、浦河地区は下降、静内・三石・様似地区は同水準となった。売上判断 D. I. は 11.1 で、前期比 44.5 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△11.1 で、前期比 55.5 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
販売価格	66.7	66.7	55.6	0.0
仕入価格	66.7	66.7	55.6	0.0

販売価格判断 D. I. は 55.6 で、前期比 11.1 ポイント下降した。前年(62.5)比では 6.9 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 55.6 で、前期比 11.1 ポイント下降した。前年(62.5)比では 6.9 ポイント下降した。業種別では、水産業、食品業の販売価格、仕入価格はともに横這いとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
残業時間	22.2	11.1	11.1	11.1
人手状況	-11.1	-22.2	-33.3	-33.3

残業時間判断 D. I. は 11.1 で、前期と同水準となり、残業時間に変動はなかった。

人手過不足判断 D. I. は△33.3 で、前期比 11.1 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

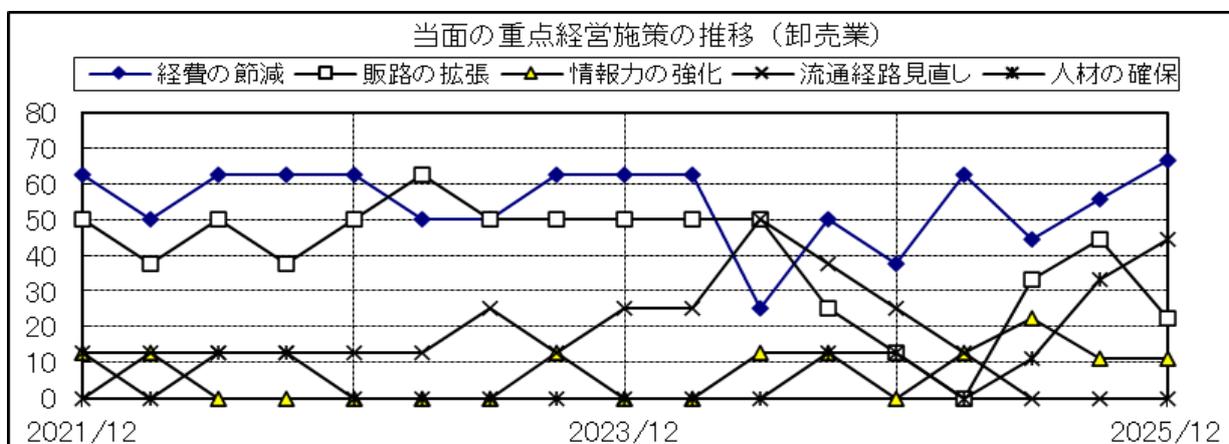
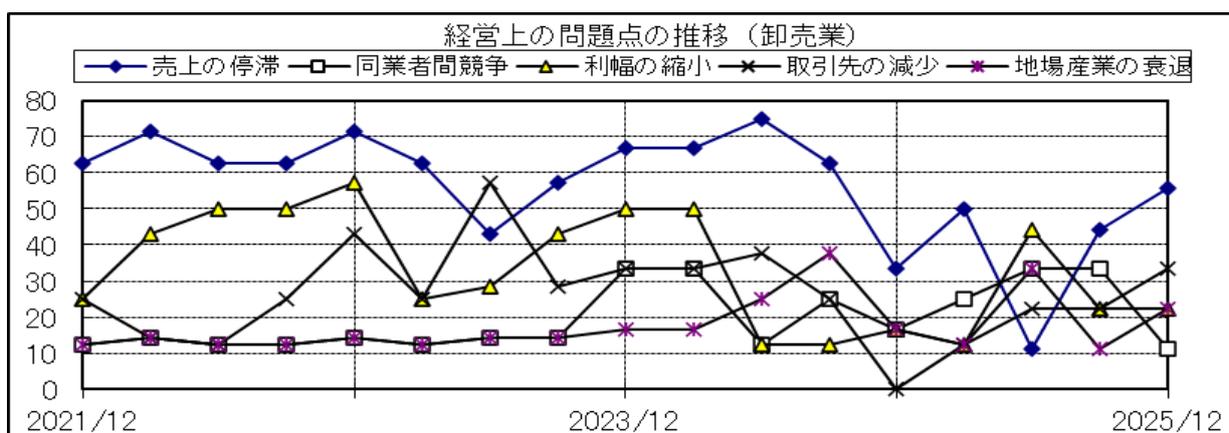
設備投資の充足感を示すD. I. は△33.3で、前期(△22.2)比 11.1ポイント下降した。

設備実施企業割合は 22.2で、前期(33.3)比 11.1ポイント下降した。設備投資は、前期 3社に対し、2社の実施となった。来期の設備投資は、1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 55.6%と最も多く、次に「人手不足」44.4%、「取引先減少」33.3%、「利幅縮小」・「人件費増加」・「地場産業衰退」が 22.2%、「同業者競合」・「商品陳腐化」・「販売商品不足」・「値上要請」・「諸経費増加」が 11.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 66.7%と最も多く、次に「人材確保」44.4%、「販路拡大」22.2%、「品揃えの充実」・「情報力強化」・「新事業開始」・「輸入商品の取扱」・「労働条件改善」が 11.1%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△22.2と、今期比 22.2ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△33.3と、今期比 44.4ポイントの下降を見通している。

予想収益判断 D. I. は△33.3と、今期比 22.2ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は 0.0と、今期比 55.6ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断 D. I. は 0.0と、今期比 55.6ポイントの下降を見通している。